

## 年頭にあたって

財団法人九州大学学術研究都市推進機構 理事長 小田原 智一

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、日頃から九州大学学術研究都市構想の推進に対しましてご尽力、ご支援頂き深く感謝申し上げます。

昨年は、4月に外国人研究者等を対象とした宿泊施設『伊都ゲストハウス』が九州大学伊都キャンパス内にオープンしました。

また5月には、九州大学創立百周年記念行事『九大百年まつり』が開催され、多くの方々に伊都キャンパスにおいでいただき、九州大学学術研究都市の発展を身近に感じてもらう良い機会となりました。

今年、伊都キャンパス内での、『カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 (I<sup>2</sup>CNER)』『次世代燃料電池産学連携研究センター (NEXT-FC)』の開所や、3,000人収容可能なホールを持つ『椎木講堂』(平成26年2月竣工予定)の整備も進むほか、理学系施設についても、平成27年度後期の開講に向けて施設整備の着工が予定されています。

また、伊都キャンパスの玄関口に近い元岡

地区には『福岡市第二産学連携交流センター(第2FiaS)』『有機光エレクトロニクス実用化開発センター(i<sup>3</sup>-OPERA)』が開所し、さらに、近隣の背振山地では国際リニアコライダー(ILC)計画の誘致活動が見込まれる等、九大学研都市エリアでは研究開発、企業立地環境の充実度が益々高まるだけでなく、世界の第一線の研究者が集う国際的学術研究拠点の形成にも期待が高まっています。



このような中、当機構といたしましても、我々の強みであります地元産学官との連携を更に強め、『知の時代』にふさわしい『知の拠点』『知的クラスター』づくりを目指す九州大学学術研究都市構想の実現に向けて『広報活動、研究支援、交流支援、立地支援』に積極的に取り組んでまいりますので、引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 研究施設の整備が進む九大学研都市(施設写真・イメージ)



【左】『伊都ゲストハウス』(平成24年4月開所)



【中】『カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 (I<sup>2</sup>CNER) (建物左側)』(平成24年11月竣工)

『次世代燃料電池産学連携研究センター (NEXT-FC) (建物右側)』(平成24年11月竣工)



【右】『有機光エレクトロニクス実用化開発センター (i<sup>3</sup>-OPERA)』(平成25年3月竣工予定)



## 活動報告

### 第8回「九州大学学術研究都市」セミナー in 東京・「九州大学学術研究都市」現地説明会を開催



写真：セミナーの様子

平成24年10月12日(金)、品川プリンスホテルにおいて、「研究開発拠点形成が加速する九大学研都市」と題してOPACK主催のセミナーを開催いたしました。当日は企業や産学官連携機関などから約180名の参加をいただきました。

基調講演に先立ち、「産学官連携の新たな取組みについて」と題し、九州大学知的財産本部の古川勝彦教授から、産学官連携のこれからについて紹介があり、基調講演では、「FiaS(福岡市産学連携交流センター)の最先端研究を実用化する—その魅力とこれからの期待—」と題し、九州大学未来化学創造センター長の後藤雅宏教授から、FiaSから生み出された最先端の研究について、また、「材料革新が拓く有機ELの新展開と研究拠点形成へ」と題し、九州大学最先端有機光エレクトロニクス研究センター長の安達千波矢教授から、有機ELの拠点形成が九大学研都市において加速度的に展開していることをそれぞれ紹介いただきました。



写真：基調講演の様子(後藤雅宏教授)



写真：基調講演の様子(安達千波矢教授)

講演では、日産化学工業株式会社の宮地克明新事業企画部長、株式会社リコー研究開発本部の安井隆室長から、FiaS入居企業としての連携の魅力や実例を紹介いただくとともに、福岡市から、昨年秋に着工された福岡市第二産学連携交流センターを中心とした九大学研エリアへの取組みについて、福岡県からはグリーンアジア国際戦略総合特区について紹介いただきました。セミナー後の交流会では、未来化学創造センターのポスター掲示も行われ、大盛況のうちに終了しました。

平成24年11月19日(月)・20日(火)の2日間において、セミナーで案内していた研究施設等を中心とした現地説明会を企業から11名の参加をいただき開催しました。1日目は九州大学伊都キャンパスを中心に見学を行い、懇談会では地元自治体や経済会、九州大学からも参加があり活発な情報交換が行われました。2日目は福岡県が整備している糸島リサーチパーク等の関連施設の見学を行い、企業進出適地の紹介を行いました。この現地説明会は九大学研都市の魅力を感じていただける企画として大変好評でした。



写真：現地説明会の様子

#### 「第53回分析化学講習会」開催

平成24年8月8日(水)から10日(金)までの3日間、日本分析化学会九州支部と共催で、九州大学伊都キャンパス及び福岡市産学連携交流センター(FiaS)を会場に「第53回分析化学講習会」を開催しました。

本講習会では、研究開発に欠かせない分析の人材育成として、ガスクロマトグラフィーや光速液体クロマトグラフィー、原子スペクトル

分析法に関する基礎・応用の講義と実習が行われ、企業や公的機関などから50名が受講しました。



写真：講習会の様子

#### 「自動車部品設計セミナー9日間コース」開催

平成24年8月16日(木)から28日(火)を第1回、平成24年9月3日(月)から13日(木)を第2回として「自動車部品設計セミナー」を開催しました。

この研修は、九大学研都市において頭脳拠点化を目指す分野のひとつである自動車分野で不足する設計技術人材の育成を目的とし

て、企業及び一般の方を対象に開催しており、受講者は3次元CAD「CATIA V5」習得を中心に、エンジンの解体・組付けやトヨタ宮田工場での見学・技術者との意見交換などを通じ、次世代自動車の開発に必要な技術・知識の習得・向上に努め、受講者全員が全課程を修了することができました。



写真:セミナーの様子

## 「ICEL2012 Fukuoka, JAPAN」開催

平成24年9月4日(火)から6日(木)までの3日間にわたりホテルThe LUIGANSで「第9回有機EL及び有機エレクトロニクスに関する国際会議」をICEL2012運営委員会と共催にて開催しました。

これまで有機発光ダイオード(OLED)は新しい半導体材料や有機デバイスのイノベーションによって成長してきており、現在ではフルカラーディスプレイや照明等の応用展開がなされています。本会議には国内外から有機EL関連技術に従事する最先端の研究者・技術者の方々が参加し、研究発表討論及び情報交換を図ることができました。



写真:会議の様子

## 「再生可能エネルギー 先端技術展2012」出展

平成24年11月14日(水)から16日(金)までの3日間、北九州市の西日本総合展示場にて開催されました「再生可能エネルギー先端技術展2012」に福岡水素エネルギー戦略会議をはじめ、産業技術総合研究所水素材料先端科学研究センター(HYDROGENIUS)や九州大学水素エネルギー国際研究センター、水素エネルギー製品研究試験センター(HyTReC)等の関連団体とともに共同出展しました。

OPACKは、九大学研都市における水素エネルギー研究施設の集積状況や様々な研究施設の立地状況に関するパネル展示、各種パンフレットの配布及び個別の説明を通じて来場者に九大学研都市の魅力をアピールしました。



写真:展示ブースの様子

## 「福岡新テクノロジー 創成シンポジウム」開催

平成24年11月27日(火)に福岡市産学連携交流センター(FiaS)で「福岡新テクノロジー創成シンポジウム」を福岡市及び九州大学等と共催にて開催しました。

本シンポジウムでは、九州大学教授による講演や福岡市産学連携交流センター入居者による活動報告を行い、産学連携による共同研究の成果を発表しました。



写真:シンポジウムの様子



## お知らせ

### 展示会への出展

国内外の関連企業・大学・国公設研究機関等が数多く参加しております、下記の展示会へ出展します。

OPACKブースでは、パネル展示等と併せて常駐スタッフが研究機関等の集積が進む九大学研都市の魅力をご紹介します。

是非、ご来場下さい。

### nano tech 2013

ナノ材料・素材、超微細加工技術、評価・計測分野をはじめとする応用分野における世界最大の最先端テクノロジー展示会。

会期:平成25年1月30日(水)から  
平成25年2月 1日(金)まで  
会場:東京ビッグサイト

### FC EXPO 2013

水素・燃料電池の研究・開発・製造に必要なあらゆる技術、部品・材料、装置、及び燃料電池が一堂に出展する国際専門展示会。

会期:平成25年2月27日(水)から  
平成25年3月 1日(金)まで  
会場:東京ビッグサイト

## ✉メルマガ会員募集中

九大学研都市メールマガジンは、九大学研都市エリアのイベントや自治体、大学、産学連携、研究機関の活動情報など、九大学研都市に関する最新情報をお届けするメールマガジンです。

### 申込方法

<http://www.opack.jp/>  
からメールマガジン募集ページにてお申込みください。



## 九州大学学術研究都市に立地する研究機関・企業の紹介

このコーナーでは、九州大学学術研究都市に立地する研究機関・企業の紹介を行って参ります。

### 西部ガス株式会社 総合研究所



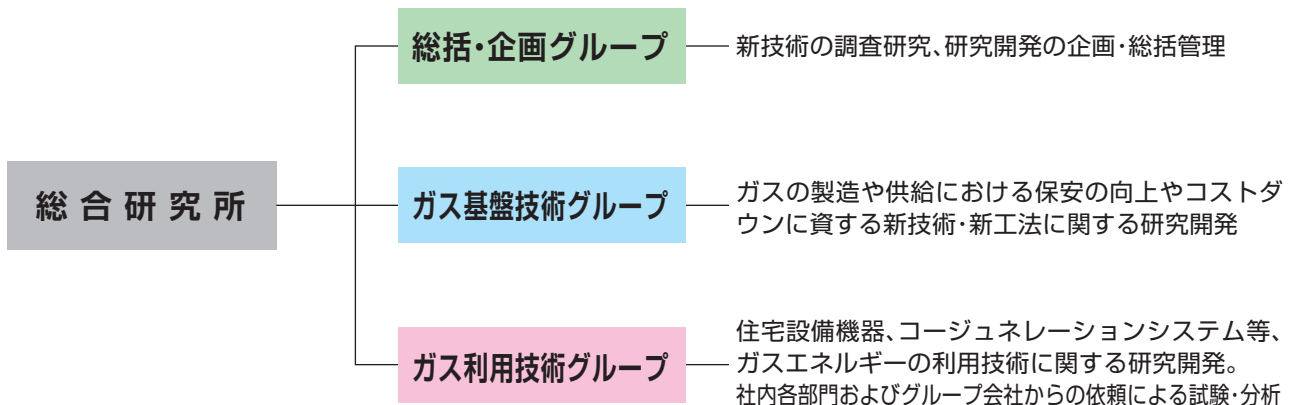
西部ガスは、クリーンな天然ガスを主成分とする都市ガスを、福岡・熊本・長崎の3県16市16町の約1,110,000戸のお客さまにお届けしております。

総合研究所は、昭和59年に福岡市東区に設立され、現在の西区今宿には、平成13年4月に移転してまいりました。

総合研究所では、環境改善に大きく貢献する天然ガスの普及拡大や高度利用、さらにはガスを安全

にお届けし、安心してお使いいただくための供給基盤の強化など、将来を見通したさまざまな分野の研究開発を行っています。また、他ガス事業者や大学など、外部との連携を積極的に行い、効率的な技術開発を進めています。

#### 組織



#### 研究開発内容紹介

総合研究所で行っております、調査、研究、開発についてご紹介いたします。



#### 固体酸化物形燃料電池(SOFC)に関する調査研究

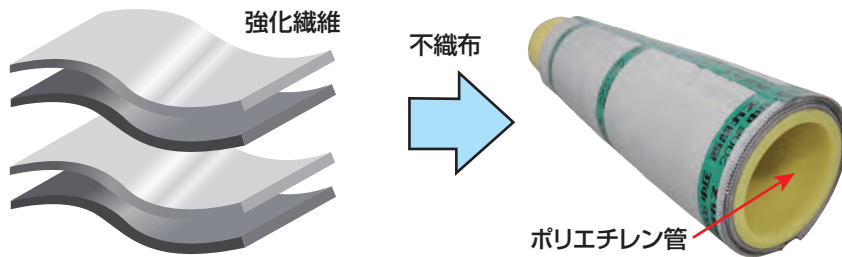
発電効率に優れた次世代燃料電池であるSOFCについて、家庭用コージェネレーションシステムを一般家庭や研究所に設置し、システムの性能評価試験等を行うなど、導入促進に向けた取り組みを行っています。

写真：固体酸化物形燃料電池（SOFC）ラボ試験

### ガス導管技術に関する研究・開発

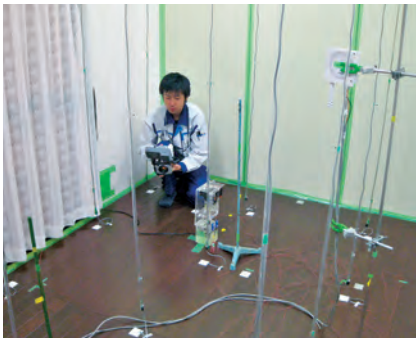
特性の異なる2種類のシート(強化繊維・不織布)をポリエチレン管に取り付けることで、道路工事等で一般に使用される掘削機等による衝撃に対し、ポリエチレン管表面の損傷を抑制し、ガス管損傷を低減する事ができ、軽量・柔軟で施工性にも優れた防護材の開発を行っています。

#### <ポリエチレン管防護材の開発>



写真：防護材施行風景

### ガス機器の快適性に関する調査研究



写真：床暖房の評価試験



写真：ガスコンロの評価試験

調理、給湯、暖房といった暮らしの中におけるガス機器の機能性や環境性、利便性などの調査・試験研究を行っています。また、これらのガス機器を快適にお使いいただくために、人間工学(生理・心理学)、栄養学、調理学といった学術的な面から、大学などと共同で研究を行っています。

### 試験・分析業務について

社内およびグループ各社からの依頼試験および分析業務を行っています。

また、環境計量証明事業所として法定ばい煙測定を実施し、社内およびグループ会社が所有する設備の維持管理の効率化とコストダウンに貢献しています。



写真：ばい煙測定風景

## 九大学研都市に関する自治体からのお知らせ

### 福岡県

### ～グリーンアジア国際戦略総合特区を推進しています～

総合特区制度は、経済社会の発展を図るため、地域が提案する戦略的な施策に、国が規制改革や税制、金融、財政面で支援するものです。

福岡県と北九州市、福岡市が共同申請し、平成23年12月に指定を受けた本特区では、アジアと環境を軸に、地域に蓄積された産業・技術・人材などの強みを生かし、「都市環境インフラのパッケージ化」、「環境配慮型製品の開発・生産拠点の構築」、「資源リサイクルシステムの確立」、「アジアとのシームレスなビジネス環境の実現」の4つの柱に沿って事業を展開しています。

国の支援措置のほか、県独自の支援策も用意しています。具体的には、設備投資等に対する交付金や融資制度、不動産取得税の免除などで、特区に係る環境関連の事業を行う企業を強力に支援します。

九大学研都市エリアでは、九州大学伊都キャンパスや糸島リサーチパーク、九州大学南口泊研究団地等が区域指定されています。

平成24年9月には、福岡市西区にパワーデバイス製作所を構える三菱電機株式会社が本特区の指定法人となり、上記支援制度を活用して設備投資を行うことが予定されています。

今後も企業の設備投資等を後押ししていくとともに、さらなる企業の参画を促し、地域経済活性化や雇用創出を目指します。



写真：小川知事(左)から法人指定書の交付を受ける眞田役員理事パワーデバイス製作所長(右)

### 福岡市

### ～第二産学連携交流センター(仮称)の入居者公募を開始～

九州大学学術研究都市づくりの先導的施設である福岡市産学連携交流センターは、平成20年4月の開設以来、満室で稼働しており、大型プロジェクトの展開や特許技術・新商品の開発、雇用創出などの成果が生まれております。

さらに研究開発拠点形成を促進するため、平成24年9月から、隣接地において第二産学連携交流センター(仮称)の建設に着手しており、平成25年1月には入居者の公募を開始する予定としておりますので、是非活用をご検討ください。



イメージ：現センター(手前)と第二センター(奥)

#### 【施設概要】

設置場所 福岡市西区大字元岡  
開設 平成25年10月予定  
構造 鉄筋コンクリート造 地上2階建て  
延床面積 約3,379㎡  
主要諸室 レンタルラボ(オフィス付)15室、  
会議室、分析機器室  
お問合せ 福岡市科学技術振興課  
092-711-4344

### 糸島市

### ～糸島市九州大学連携研究助成金・糸島市地域活性化プランコンテスト～

#### 「糸島市九州大学連携研究助成金」

糸島市では、九州大学が持つ高度な知的資源を活用したまちづくりを進めています。

その一環として、九州大学の研究者が行う研究で糸島市内をフィールドとして地域課題の解決や地域資源の掘り起こしなどに繋がるものに助成する「糸島市九州大学連携研究助成金」制度を設けています。

平成23年度は、「白糸の滝での小水力発電」「空き家プロジェクト」などの研究を行い、平成24年度は「海岸マツ林の保全とヤブツバキを用いた代替林の育成」「健康寿命と健康行動の実態に関する調査研究」など7件の研究に助成を行っています。

また、平成22年度に助成した研究を発展させたものとして、「津波ハザードマップ作成」の共同研究を行っています。

#### 「糸島市地域活性化プランコンテスト」

全国から糸島に学生を集め、糸島市の地域活性化について考える「第3回糸島市地域活性化プランコンテスト」を九州大学地域活性化団体 iTOPと糸島市の主催で9月に開催しました。

このコンテストにおいて市民審査により最優秀プランに選ばれたのは、九大の日本人学生と留学生がカフェを運営、糸島産の食材を用いて留学生の郷土料理を提供するというものでした。このプランは11月に事業計画発表会を行い、地域住民と学生・留学生が交流できる「グローバルカフェいとかし」として実現し、前原商店街で毎月第4日曜日開催されています。また、このカフェでは語学教室などの交流イベントも行っています。

みなさん、是非立ち寄ってみてください。



写真：カフェを運営する九州大学留学生と日本人学生